

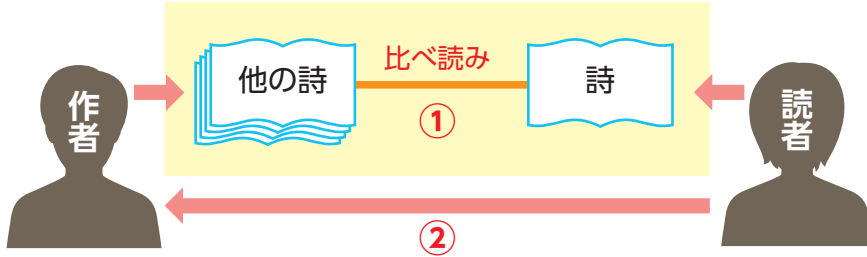
「同じ作者の詩を比べて読み、考えたことを伝え合おう」

～複数の詩を読んで、自分の考えを広げたり深めたりすることができる～

詩の解釈における着眼点の違いを捉えることや、二つの詩を比べて読み、条件に合わせて適切に書くことに課題が見られました。そこで、本アイデアでは、これらの課題を解決するために、「同じ作者の詩を比べて読み、考えたことを伝え合おう」という単元を構想します。なお、本アイデアは、第5学年以上を対象にしています。

授業アイデア例

複数の詩を比べて読むことのよさは？



複数の詩を比べて読むことによってそれぞれの詩の特徴やよさを捉えることができます。(左図①)

また、読者が作者のものの見方や考え方を感じ取ることにつながります。(左図②)

単元「同じ作者の詩を比べて読み、考えたことを伝え合おう」(全4時間)

スタート

<主な学習活動>

<指導上の留意点>

第一次

- ① これまでに教科書で学習した詩を再度読んで、それぞれの詩の特徴を話し合う。

まど・みちおの詩を読み、学習課題「同じ作者の詩を比べて読み、考えたことを伝え合おう」を設定し、学習計画を立てる。

- 【詩を読むときの観点】(右ページ参照)として「表現の仕方」や「作者や語り手」の二つに注目できるようにする。

- まど・みちおの作品の中から同じ題材の詩を2～3編取り上げて紹介する。また、まど・みちお以外の同じ作者の詩についても、並行して読むことを促す。

第二次

並行読書

- ② B3の二つの詩を比べて読む。

○共通点や相違点を整理する。

(個→グループ)

○共通点や相違点を基にして、自分が考えたことを書く。

○学級全体で交流する。

- 【詩を読むときの観点】を基にして、B3の二つの詩の共通点や相違点をまとめることができるようにする(右ページ参照)。

- 考えたことを書く際には、次のような条件を与えるようにする。

<条件の例>

○字数

○共通点・相違点のいずれか、いずれも

○「たんぽぽ」「まど・みちお」のキーワード等

条件は一つの評価規準と考えることができます。

第三次

※同じ作者の詩

- ③ まど・みちおの詩の中から、自分が気に入った詩を複数取り上げ、まど・みちおのものの見方や考え方について感じ取ったことを伝え合う。

- まど・みちおの詩の中から気に入った詩を選ぶ際には、グループや学級全体で輪読したり群読したりすることを通して、解釈の幅を広げられるようにする。

- ④ 各自が選んだ同じ作者の詩を紹介し合い、学習の振り返りをする。

- 学習の振り返りでは、【詩を読むときの観点】に基づいて詩の特徴を捉えることの大切さや、同じ作者の複数の詩を比べて読むことのよさをまとめることができるようにする。

ゴール

単元を貫く
言語活動

同じ作者の詩を比べて読み、考えたことを伝え合おう

B ③ 詩を比べて読む

B ③二 正答率 48.7% 【詩2】に対する山田さんの解釈として適切なものを選択する

B ③三 正答率 48.3% 【詩1】と【詩2】を比べて読んで考えたことを書く

【第3学年及び第4学年】C オ

【第5学年及び第6学年】B ウ

【第5学年及び第6学年】C エ

第一次 (①/4)

【詩を読むときの観点(「表現の仕方」「作者や語り手」)をまとめる



【観点をまとめるための手立て】

- ① 既習の教科書教材の詩や、学校図書館で集めた詩集に載っている詩を取り上げる。
- ② 右に示す一つ一つの観点について、具体例と合わせて確認する。

【詩を読むときの観点】

表現の仕方

○連の構成

○技法

- ・反復
- ・省略
- ・列挙
- ・比喻
- ・擬声語
- ・擬態語
- ・倒置法
- ・擬人法

※ 表現の技法について、用語を指導する必要はありません。平易な言葉で具体的な事例と合わせて指導しましょう。

作者や語り手

○視点

- ・だれが
- ・どこで
- ・何を見ているか
- ものの見方や考え方
- ・やさしい
- ・あたたかい



第二次 (②/4)

B ③の二つの詩を比べて読み、互いの考えを話し合う

〔B ③の共通点や相違点を板書でまとめた例〕

⑥についての発言例

【詩1】では、タンポポと動物の鳴き声や特ちょうをうまく結び付けて、タンポポの呼び方を書いているね。



⑧についての発言例

【詩2】では、ていねいな言葉を使ったり、使わなかったりしているわ。



〔共通点〕	
① たんぽぽと人や生き物とが互いに呼びかけている。	⑥ それぞれの動物の鳴き声などに「タンポポ」を重ねている。
② たんぽぽと人や生き物が仲良し。	⑦ タンポポ(カタカナ)
③ 連に分けられている。	⑧ 文末は「です」「や」「ます」になっている。
④ リズムがある。	⑨ 二連
⑤ 句読点がない(わかち書き)。	
〔ちがう点〕	
【詩1】	【詩2】
⑥ それぞれの動物の鳴き声などに「タンポポ」を重ねている。	たんぽぽと周りの関係に注目している。
⑦ タンポポ(カタカナ)	たんぽぽ(ひらがな)
⑧ 文末は「です」「や」「ます」になっている。	文末は「うしろ」と「だ」が混ざっている。
⑨ 二連	三連

②についての発言例

【詩1】では、動物の名前と呼び方をならべているよ。たんぽぽと生き物の仲が良さそうだな。



④についての発言例

【詩2】では、「あーら ひょーら ぷーら しょ」という印象深いことばを何度も書いているわ。つい口に出したくなるわね。



第三次 (③④/4)

同じ作者(まど・みちお)のものの見方や考え方について感じ取ったことを発表し合う

「たんぽぽ」について書かれた詩には、動物や植物になりきって書かれた言葉が出てきます。まど・みちおの、小さな生き物への思いやりや、やさしさを感じます。まど・みちおの詩には、いろいろな生き物をやさしく見守るあたたかい世界があります。



本授業アイディア例 活用のポイント

- 【詩を読むときの観点】については、カードにまとめて教室に掲示したり、学習のポイントとしてノートに貼付したりすることにより、定着を図ることができます。
- 本アイディアは、まど・みちおの「たんぽぽ」を題材にした二つの詩を取り上げた事例です。このように、同じ作者の同じ題材を取り上げる他、同じ題材で違う作者の作品を比べたり、同じ作者で違う題材の作品を比べたりすることも考えられます。